



歯科口腔外科

当科は、浜松北病院の基本理念である“思いやりを基本とした愛情ある医療と福祉を実現する”をモットーに、スタッフ一同、日々患者様と向き合っています。

当科のスタッフは、常勤の歯科医師2名をはじめ、歯科衛生士、歯科技工士、歯科助手、受付事務の総勢16名で頑張っています。

当科では、有病者歯科治療を中心に、清潔区域（手術室）での親知らずなどの抜歯、顎関節症、顎顔面領域の疾患、歯科インプラントの治療を行っております。顎骨髄炎に対しては、当院内にある高気圧酸素治療を用いながら対応しています。

また、口腔領域の悪性腫瘍の緩和ケアに対しても、他科と連携して対応しています。

その他、入院された患者様で、自力で歯みがき等が困難な方においては病棟専属の歯科衛生士にて口腔内の清掃を行っています。

また、入院された後に口腔内の疼痛・義歯（入れ歯）の調整・作成においても対応しています。

口腔内や歯に関するお悩みをお持ちの方には、患者様に寄り添い気軽にお声をかけていただけるよう心掛けています。どんな小さなお悩みでも、「こんな事を質問したら迷惑じゃないか」と心配なさらずにお気軽に声をお掛け下さい。

診察室は、診療ユニットを6台配置。ゆったりとしたスペースで、段差がありません。

全体を白色を基調として、明るく清潔感のある空間で患者様に安心して受診できるよう配慮しています。



歯科口腔外科 山田



熱中症にご注意ください

毎年、熱中症による健康被害が数多く報告されており、気温の高い日が続く暑い時期に備え、一人ひとりが熱中症予防対策をとっていただくことが重要です。

熱中症予防のポイント

- 1: 気温・湿度の高い時のマスク着用には注意!
- 2: エアコンや扇風機を使って部屋の温度を調節
- 3: 体調に異変を感じたら涼しい場所に移動
- 4: こまめに水分補給（塩分も忘れずに）
- 5: 体調が悪いと感じた時は、無理をしない

熱中症は予防することができます。正しい知識を持ち、夏を健康に過ごしましょう。



〒431-3113
 静岡県 浜松市 東区 大瀬町1568
 TEL (053)-435-1111
 FAX (053)-433-2700
 Webページはこちら(QRコード) >>



翔き

はばた

2023
夏号
No. 70



浜松北病院の歯科口腔外科は、病院の西側西病棟の1階にあります。お口のお悩みがありましたら、是非ご相談ください。



医療法人社団 盛翔会
浜松北病院

基本理念

思いやりを基本とした
愛情ある医療と福祉を実現する



BRONJって何？

BRONJとは、骨粗鬆症治療薬であるビスフォスフォネート（BP）製剤を服用している骨粗鬆症患者さんやがん患者さんに、抜歯などの外科的処置をした際に発生すると言われていた顎骨壊死のことです。正式名称はビスフォスフォネート関連顎骨壊死（Bisphosphonate-related Osteonecrosis of the Jaws：BRONJ）です。

私たちの骨は日々生まれ変わっています。破骨細胞が古くなった骨を壊し、骨芽細胞が新たに骨を作ります。このサイクルを骨のリモデリング（代謝）と呼びます。骨のリモデリングのおかげで私たちの体は丈夫な骨に支えられているのです。骨粗鬆症患者さんは、骨芽細胞の働きが衰えてくると新しく作られる骨の量が少なくなり、破骨細胞によって壊される骨の量が上回り、骨が弱くなってしまいます。BP製剤は骨を壊す破骨細胞の働きを抑えるため、骨を強くします。

なぜ骨を強くするBP製剤が顎骨壊死を引き起こすのでしょうか？

BP製剤は破骨細胞の働きを抑え骨を硬くしますが、新しい骨を作らなくなってしまうので脆くもなります。さらに血管を作る作用も抑えてしまいます。本来であれば抜歯した後、歯が生えていた穴は時間をかけて骨で埋まってきますが、BP製剤の副作用で血流が乏しくなるため抜歯した穴は骨が作られず治癒不全を起こします。

抜いた穴は骨がむき出しの状態になり、口腔内に存在する細菌がそこへ感染し始めると、みるみるうちに顎骨が腐ってしまうのです。これがBRONJの発症機序です。



BP製剤を休薬しなければ抜歯などの外科的処置ができない訳ではありません。休薬すると骨密度の低下や骨折のリスクが増加してしまいますので、休薬するか否かはかかりつけ医と連携し歯科治療を行います。

ではBRONJを予防するにはどうしたらいいのでしょうか？

BP製剤を服用する前や抜歯前後に歯科医院で口腔内を清潔にしましょう。プラークや歯石を除去することで口腔内細菌を減らせます。



定期的な口腔内清掃と歯ブラシでBRONJを防ぎましょう。

安東 孝純 医師

歯科口腔外科

外来診療時間

火・水・金曜日
8:30 ~ 17:30
木曜日
8:30 ~ 17:00
土曜日
8:30 ~ 11:30



歯科口腔外科の受診は予約制です。
ご利用の際は

053-435-1110

までお電話ください。



君は雷鳥のお友達？

青い空に綿菓子のようなモクモクした雲。夏到来です。アスファルトで焼けた空気は、呼吸するのも嫌にさせ、今すぐにでも高原にでも逃げたくありません。

避暑地ではありませんが、祖父母の家が天竜の山奥にありましたので、子供の頃、よく遊びに行きました。この時期は、お茶摘みも終わっているので、大好きな祖父母がいっぱい構ってくれます。よく一緒に薪拾いやサワガニ採りに出かけたりしました。

ある日、山を歩いていると、ガサガサと藪をかき分ける音が…。猪や野犬に怯える私でしたが、祖父母が「怖くないよ。多分コジュ…」と話している最中、いきなり藪から道に黒い塊が現れたかと思いきや、すぐにまた藪に滑り込むように消える生き物。「コジュケイだよ」と怯える私に笑いながら教えてくれました。空は飛べないが素早く走る鳥で、中国大陸から持ち込まれた事をその時に聞きました。「捕まえて。飼いたい」と駄々をこね祖父母を困らせた覚えがあります。

コジュケイの存在を知ってからは、山に行く度に目にする様になりました。ある時は草むら、ある時は、お茶の木の中から飛び出てきます。子連れだったりする時もあります。突然現れるので驚きますが、せわしく走る様子は、思い出しても滑稽で笑えてきます。どこか雷鳥にも似ています。鳴き声はずっと謎でした。漢字で「小綬鶏」と書きます。「鶏」の漢字がある事と、その容姿から『コッココ…』と鳴くのだろうと勝手に思っていました。最近、インターネットで偶然、彼らの鳴き声を知る事に。それは、お茶摘みの時によく聞いた馴染みある鳴き声。高く綺麗な声で『ちょっと来い ちょっと来い』と唄います。（TVの効果音で良く使われます）

鳥の伝来は20世紀初頭。江戸時代にはまだいません。もし一茶や芭蕉が、鳴き声を聞いたとしたら、何んと詠んだらうか…。そんな想像を巡らせていると少しだけ、暑い事を忘れていました。